

アルファグループ株式会社

2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年11月19日（水）

サマリー

上半期総括

◆事業ポートフォリオの改革を断行し、全事業をストック型ビジネスに移行

- ・ アルファディスカーレ（株）の福祉に係わる事業を会社分割し、MBO方式により全株式を譲渡
- ・ 「第三の事業」確立に向け、「再生可能エネルギー事業」の推進に注力
- ・ 第三者割当増資を実施し、同事業に対する投資資金の調達を実施

通期事業方針

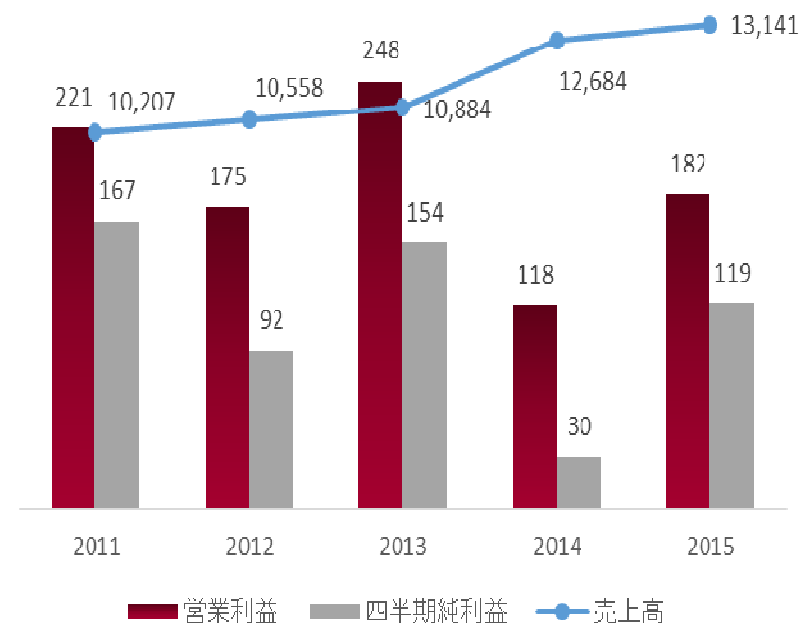
◆持続的な成長に向けて、新たな事業基盤の構築を目指す

- ・ 飽和状態にあるモバイル市場を踏まえた「販売網の再強化」
- ・ 太陽光発電を中心とする「再生可能エネルギー事業」を積極的に推進

2015年3月期 第2四半期決算実績

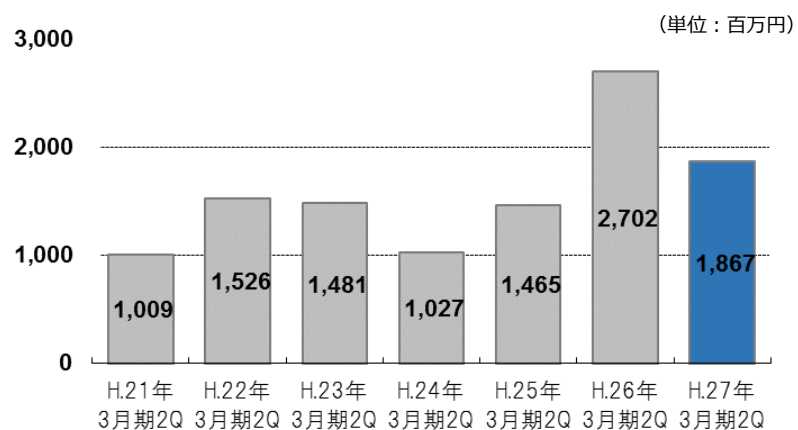
◆ 「売上高」「営業利益」「経常利益」は増加、「四半期純利益」が減少

単位：百万円	2014年3月期 第2四半期累計 実績	2015年3月期 第2四半期累計 予算	2015年3月期 第2四半期累計 実績	対前年実績増減額／率		対予算増減額／率	
売上高	12,684	13,098	13,141	457	3.6%	43	0.3%
営業利益 (利益率%)	118 (0.9%)	128 (1.0%)	182 (1.4%)	64	54.2%	54	42.2%
経常利益 (利益率%)	112 (0.9%)	114 (0.9%)	163 (1.2%)	51	45.5%	49	43.0%
四半期純利益 (利益率%)	30 (0.2%)	200 (1.5%)	119 (0.9%)	89	296.7%	▲81	▲40.5%

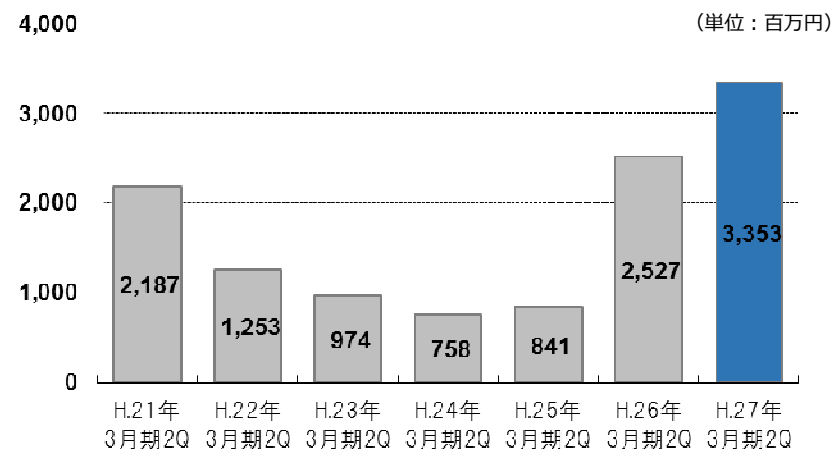


財務状況

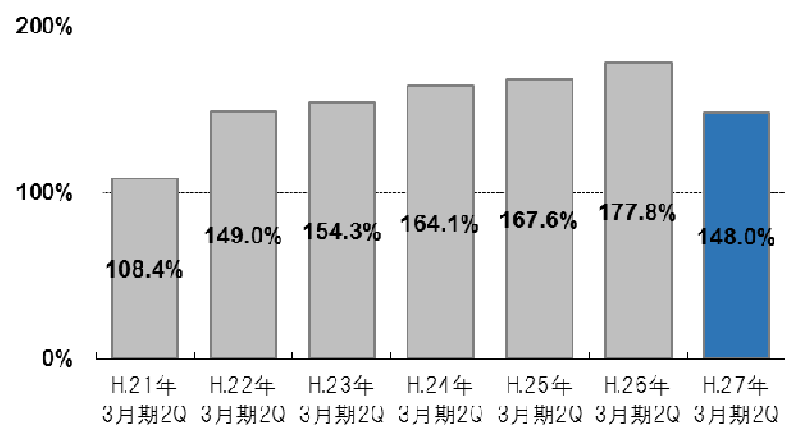
現金および預金



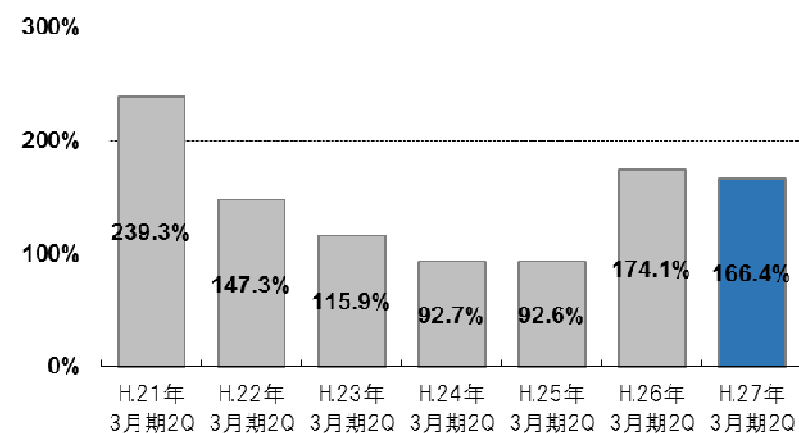
借入金



流動比率



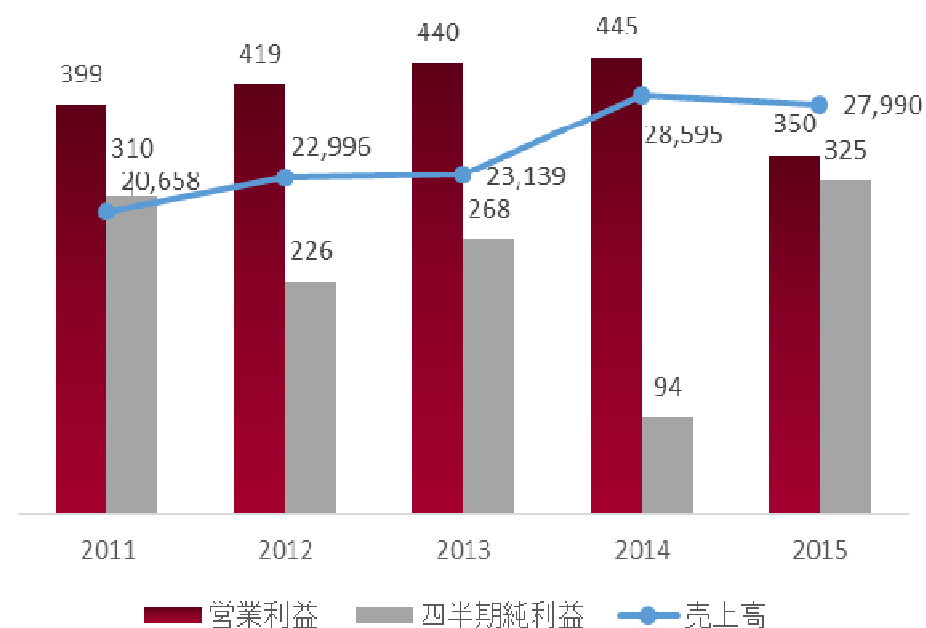
負債比率



2015年3月期 通期決算予測

◆ 持続的成長に向けて、「モバイル事業」「再生可能エネルギー事業」において積極的投資を実施

単位：百万円	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	対前年実績増減額／率	
売上高	28,595	27,990	▲ 605	▲ 2.1%
営業利益 (利益率%)	445 (1.6%)	350 (1.3%)	▲ 95	▲ 21.3%
経常利益 (利益率%)	425 (1.5%)	305 (1.1%)	▲ 120	▲ 28.2%
四半期純利益 (利益率%)	94 (0.3%)	325 (1.2%)	231	245.7%



セグメント別

第2四半期の取り組み

モバイル事業の総括と方針

単位：百万円	2015年3月期 第2四半期累計実績			
		前年実績	増減額	比率
売上高	7,973	9,356	▲ 1,383	▲14.8%
営業利益	17	74	▲ 57	▲77.0%
(利益率)	(0.2%)	(0.8%)		

	2015年3月期 通期連結業績予想			
		前年実績	増減額	比率
	18,887	21,357	▲ 2,470	▲11.6%
	104	186	▲ 82	▲44.1%
	(0.6%)	(0.9%)		

上半期総括

◆ 前年同期と比べ、「売上高」「営業利益」とともに減少

- ・販売代理店への支援等を実施したこと、また「直営店比率」を高めるための人材採用費用などが営業利益に影響

通期事業方針

◆ いかなる市場環境にあっても安定的に収益が上がるよう、引き続き「販売網の強化」を進める

- ・『選ばれる店舗』づくりの要として、接客クオリティの向上に向けた新たな取り組みをスタートさせる
- ・当社の直営店で成功事例・ノウハウを蓄積し、来期・代理店に展開できるよう準備を進める

『選ばれる店舗、選ばれる人財』をつくるために

◆ 接客サポートツール



© Copyright 2014 Alpha Group Inc. All Rights Reserved.

au



Softbank



オフィスサプライ事業の総括と方針

単位：百万円	2015年3月期 第2四半期累計実績			
		前年実績	増減額	比率
売上高	3,122	3,109	13	0.4%
営業利益 (利益率)	38 (1.2%)	51 (1.6%)	▲ 13	▲ 25.5%

	2015年3月期 通期連結業績予想			
		前年実績	増減額	比率
	6,764	6,629	135	2.0%
	101 (1.5%)	126 (1.9%)	▲ 25	▲ 19.8%

上半期総括

◆ 前年同期と比べ「売上高」は微増、「営業利益」が減少

- ・消費増税の駆け込み需要はあったものの、影響は軽微。上半期全体としては大きな影響にならず

通期事業方針

◆ 見込み顧客の獲得（量）から「購入顧客の創造」（質）へ

- ・トークスクリプトの見直しなど「継続して買っていただけるお客様」をつくるための施策を行いながら、コールセンターの機動力を活かす「新商材の開発」に注力する。

I T 事業の総括と方針

単位：百万円	2015年3月期 第2四半期累計実績			
		前年実績	増減額	比率
売上高	58	72	▲ 14	▲ 19.4%
営業利益	12	19	▲ 7	▲ 36.8%
(利益率)	(20.7%)	(26.4%)		

2015年3月期 通期連結業績予想			
	前年実績	増減額	比率
	121	▲ 21	▲ 14.8%
	17	▲ 23	▲ 57.5%
	(14.0%)	(28.2%)	

上半期総括

◆ 前年同期と比べ、「売上高」「営業利益」とともに減少

・「接客サポートツール」の開発、当社「コーポレートサイト」のリニューアル等、社内の開発ニーズに応える

通期事業方針

◆ 当社グループ内におけるシナジー効果を最大限に高めることに注力

・「お客様のWebマーケティング部」として、ネット広告からサイト制作・システム開発までを一括提供する体制を構築すると共に当社グループ内におけるシナジー効果を最大限に高めることに注力する

水宅配事業の総括と方針

単位：百万円	2015年3月期 第2四半期累計実績			
		前年実績	増減額	比率
売上高	133	166	▲ 33	▲19.9%
営業利益	46	43	3	7.0%
(利益率)	(34.6%)	(25.9%)		

	2015年3月期 通期連結業績予想			
		前年実績	増減額	比率
	252	316	▲ 64	▲20.3%
	69	97	▲ 28	▲28.9%
	(27.4%)	(30.7%)		

上半期総括

◆「売上高」が減少し、「営業利益」が増加

- ・減価償却が終わったことにより、営業利益が増加

通期事業方針

◆投資したリターンとして「STOCK」（継続収入）を回収する

- ・既存のお客様がウォーターパックをご購入頂くことで、継続的に収益を得られるビジネスモデルを維持する

再生可能エネルギー事業の総括と方針

単位：百万円	2015年3月期 第2四半期累計実績			
		前年実績	増減額	比率
売上高	1,865	1	1,864	—
営業利益	90	▲ 29	119	—
(利益率)	(4.8%)	—		

	2015年3月期 通期連結業績予想			
		前年実績	増減額	比率
	1,942	155	1,787	—
	30	62	▲ 32	▲ 51.6%
	(1.5%)	(40.0%)		

上半期総括

◆前年同期と比べ、「売上高」「営業利益」共に増加

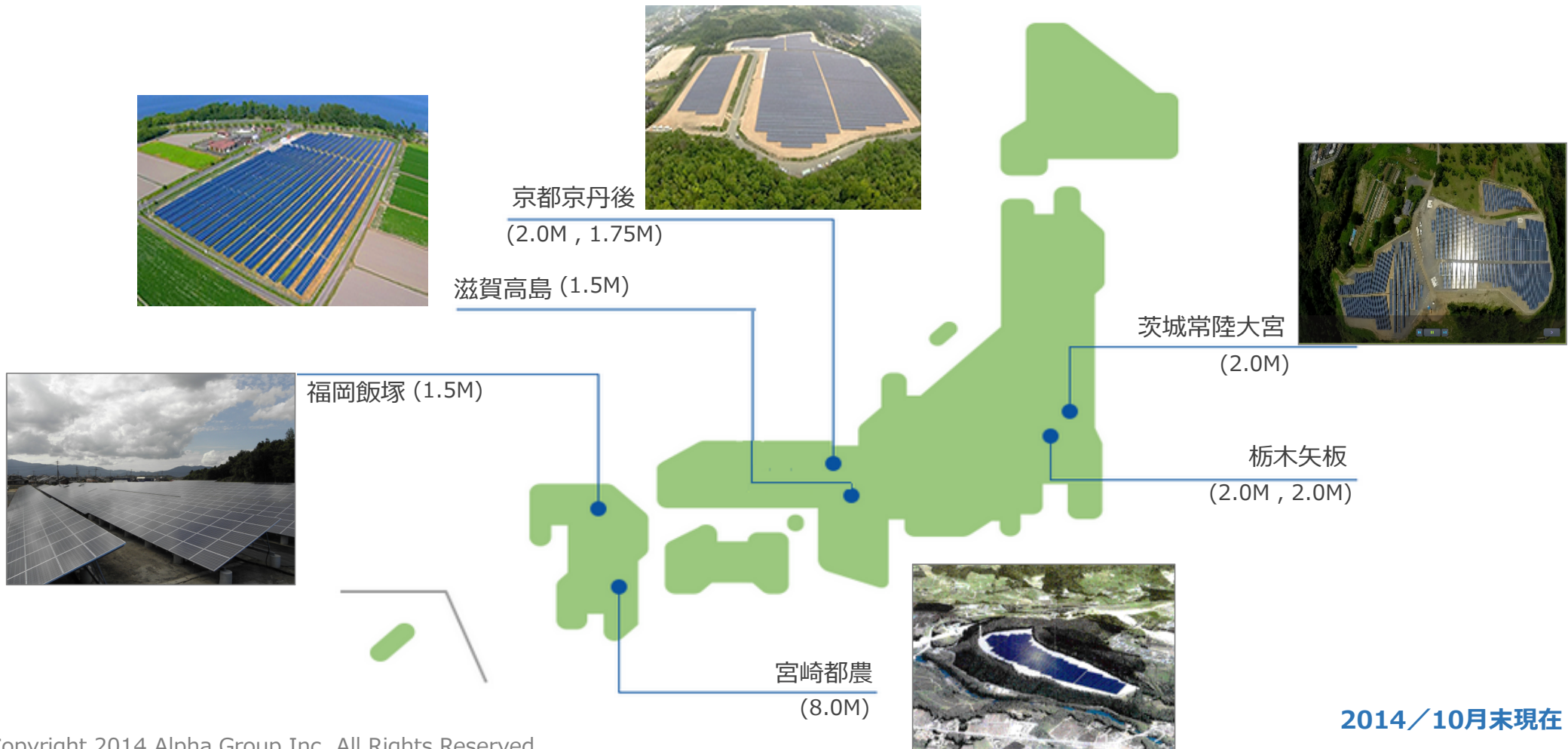
- ・これまでの積極的な投資が実を結び、ようやく「売電による収益」および「案件の売却による収益」等の利益が上がる

通期事業方針

◆中長期的目標として「合計100MWの開発」を手がける

- ・当社事業の「第三の柱」として、引き続き投資と開発を推進する

開発状況 (全国100MWの開発を目指して)



企業理念

『人に、よりよく』

本資料に記載されている当社の計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料作成時において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものです。

しかしながら、現実には通常予測し得ないような特別事情の発生または結果の発生等により、本資料記載の計画とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報の積極的な開示に努めて参りますが、本資料の計画のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願いいたします。

問い合わせ先： 経営企画 I R 担当 03-5469-7302